



協会報

2019

発行日 毎月1日 通算発行 394号

2



今月のトピックス

(一社)石川県建設業協会
創立70周年記念講演会の開催

平成31年 (一社)石川県建設業協会
石川県総合建設業協同組合 合同新年祝賀会の開催

最近の完成工事から

真脇トンネルの開通について

～80年以上経過した在来トンネルの拡幅～

石川県奥能登土木総合事務所



石川の工芸シリーズ

金沢市立中村記念美術館蔵

こづちのしおさえ やまかわこうじ
小槌熨斗押 <初代山川孝次【文政11(1828)年-明治15(1882)年】>

制作年 / 明治期 サイズ / 長さ9.5cm × 幅5.2cm 技法 / 金工

山川家は、金沢で江戸時代からおよそ100年間、3代続いた加賀象嵌の名門で、小槌熨斗押は初代の作と伝わる。加賀藩の白銀師であった初代山川孝次は、明治初期にかけて彫金師として活躍し、明治維新後に設立された金沢銅器会社では職工頭取を務めた。熨斗押とは、慶事や茶事の場を飾る熨斗を押さえる装飾具である。作品は打出の小槌をかたどり、金象嵌の技法で松竹梅、七宝文などの吉祥文を表現している。

“未来”を創り “ふる里”を守る 建設産業

発行所 一般社団法人

石川県建設業協会

〒921-8036 金沢市弥生2丁目1番23号

TEL(076)242-116(代) FAX(076)241-9258

URL-<http://www.ishikenkyo.or.jp/>

CONTENTS

2019

2



石川の工芸シリーズ
こづちのしおき
小槌熨斗押
初代山川孝次(やまがわこうじ)

1	今月のトピックス	
	(一社)石川県建設業協会 創立70周年記念講演会の開催	2
	平成31年 (一社)石川県建設業協会・石川県総合建設業協同組合 合同新年祝賀会の開催	3
2	最近の完成工事から	
	真脇トンネルの開通について ~80年以上経過した在来トンネルの拡幅~	
	石川県奥能登土木総合事務所	4
3	平成30年度 農林水産部優良建設工事 知事表彰の紹介 vol.1	
	南建設株式会社	6
4	雇用改善コーナー	
	平成30年度 富士教育訓練センター派遣事業の実施について	8
	平成30年度インターンシップの実施状況について	8
	金沢市立工業高校インターンシップ感想文	10
5	地元建設業界の景気	
	~建設業景況調査 石川県版 平成30年度第3回より~	
	東日本建設業保証(株) 石川支店	12
6	地区協会コーナー	
	~能登半島の最高峰、宝達山から美しい日本海の砂浜へ 過酷なコースと幸せ一杯のおもてなし~	
	「宝浪漫マラソン」	
	(一社)羽咋郡市建設業協会	13
7	会員リレーコーナー	
	182 株式会社北陸工建	14
8	今月の「輝き！」さん No.47	
	北川ヒューテック株式会社 森 俊輔さん	15
9	おすすめ 県政出前講座 vol.3	
	3Dプリンタについて 石川県工業試験場	16
10	協会だより	
	佐藤信秋 参議院議員国政報告会の開催	17
	委員会の開催	17
	土木委員会	
	第5回正副委員長会議の開催	17
	土地改良委員会	
	第2回技術検討部会の開催	17
	広報・研修委員会	
	委員会の開催	18
	建設技術研修所	
	平成31年度 新入社員研修について	18
11	国土交通省、建設産業人材確保・育成推進協議会 主催	
	平成30年度「私たちの主張」応募作品の紹介	
	「母の口癖」 株式会社 高田組 蔵下祐生	20
12	業界時報	
	労働災害発生状況	21
	平成30年度 建設工事受注高調(元請)	21
13	会員消息	22
14	県協会からのお知らせ	22
15	地区協会からのお知らせ	23

◆ 今月のトピックス ◆

(一社)石川県建設業協会 創立70周年記念講演会の開催

(一社)石川県建設業協会(会長 吉光武志)は、1月21日(月)午後4時からホテル日航金沢において、京都大学大学院工学研究科 藤井 聡教授を講師にお迎えし「創立70周年記念講演会」を開催した。

石川県建設業協会が、昭和23年4月1日に設立されてから70年の節目を迎えることから開催したもので、冒頭、吉光会長は、「戦後復興から高度経済成長、安定成長からバブル、バブル崩壊後の長期低迷期などを経験し、平成25年には一般社団法人へと移行した。この間、石川県のインフラ整備、維持管理を通じて県民生活、産業活動を支え経済の発展に貢献するとともに、災害復旧工事、冬場の除雪作業など「地域の守り手」として地域において社会貢献を果たしてきたと自負している。創立70周年を契機にさらに会員が結束し、建設業の経済的、社会的な地位の向上、技術力の向上を図りながら、建設業の健全な発展につなげてまいりたい。」と挨拶。

続いて、来賓の吉岡幹夫国土交通省北陸地方整備局長、板屋英治石川県土木部長から祝辞をいただいた後、藤井教授による講演となった。

藤井教授は、「建設産業界の今後の展望」と題し、国土強靱化、21世紀の新しいインフラ論など様々な観点から持論を展開。今後の展望として、公共事業予算を勝ち取り建設産業の厳しい現状を打開するため、インフラの社会的価値をアピールするための世論対策や政治活動の重要性を強調した。また、阪神・淡路大震災からの復興に20年以上かかったことを指摘し、現下のデフレ時代において、阪神・淡路大震災をはるかに上回る規模の首都直下地震や南海トラフ地震が発生すれば、日本は修復不可能な事態にまで陥る恐れがあるとし、被害縮小のためには国土強靱化のための公共事業を強力に推進するべきだと力説された。協会員一同、講演を通じて公共事業の推進とインフラ整備の重要性を再認識することができ、創立70周年の節目に大変有意義な時間を共有することができた。



吉光会長挨拶



吉岡北陸地方整備局長祝辞



講演の様様



藤井教授



板屋土木部長祝辞

藤井教授プロフィール

- 【経 歴】 1991年 京都大学工学部土木工学科 卒業
1993年 同大学院工学研究科土木工学専攻修士課程修了
2000年 京都大学大学院工学研究科(土木システム工学専攻・社会システム工学講座) 助教授
2002年 東京工業大学大学院理工学研究科(土木工学専攻) 助教授
2006年 同教授
- 【現 在】 京都大学大学院工学研究科(都市社会工学専攻) 教授
京都大学レジリエンス実践ユニット長
内閣官房参与(防災・減災ニューディール担当)(2012年12月~2018年12月)
- 【専 門】 都市計画、国土計画
経済政策等の公共政策論のための実践的人文社会科学研究
- 【主な著書】 「国民所得を80万円増やす経済政策」、「国土学」、「超インフラ論」、「凡庸という悪魔」、「大阪都構想が日本を破壊する」、「大衆社会の処方箋」、「巨大地震Xデー」等多数
- 【テ レ ビ】 朝日放送「正義のミカタ」などに解説者としてレギュラー出演中

平成31年 (一社)石川県建設業協会 石川県総合建設業協同組合 合同新年祝賀会の開催

平成31年(一社)石川県建設業協会・石川県総合建設業協同組合の合同新年祝賀会は、1月21日(月)午後6時からホテル日航金沢において、石川県知事はじめ県選出の国会議員、佐藤信秋、足立敏之両参議院議員、県議会議員、吉岡北陸地方整備局長はじめ国・県の建設業に係る行政機関の長及び協会関係団体代表者等の来賓の他、協会員、組合員を合わせた222名の参加を得て開催された。

会は、吉光武志県建設業協会会長他4名の協会副会長による新年祝儀、主計町の芸妓による「君が代松竹梅」及びびがし、にし、主計町芸妓衆による「金沢風雅」の踊りの披露で幕開けした。冒頭、主催者を代表し吉光武志会長が、「今年は5月に新天皇が即位され、改元によって新たなスタートが切られる。石川県では、第2の開業に向けた新幹線敦賀延伸工事が順調に進展し、来年夏の東京オリンピックに合わせて金沢城公園、金沢港の機能強化など交流基盤整備が急ピッチで進んでいる。今年1年、様々な基盤整備が着実に進み、輝かしい年になることを期待している。昨年は、全国的に自然災害が多発し、これを踏まえたインフラ緊急点検の結果、今後3年間で緊急対策に取り組むことになった。「地域の守り手」として地域建設業の果たす役割はますます重要になるものと考えている。今後も働き方改革の推進と生産性の向上に努め、建設産業が新3Kの魅力ある産業として県民・市民から認めいただけるよう努力を重ねてまいりたい。」と挨拶。

続いて来賓祝辞では、谷本正憲石川県知事が「建設業界の皆様には、日頃から河川改修等を通じて県民の安全・安心の確保に尽力いただき感謝申し上げます。今後も、建設業界が果たす役割はますます大きくなる。引き続き、社会資本整備を通じて地域の活性化に貢献いただきますよう期待します。」と述べられた。続いて、馳 浩衆議院議員、佐々木 紀衆議院議員、西田昭二衆議院議員、山田修路参議院議員、宮本周司参議院議員、佐藤信秋参議院議員、足立敏之参議院議員、作野広昭県議会議長、吉岡幹夫北陸地方整備局長がそれぞれ祝辞を述べた後、焼田宏明県議会副議長の乾杯の発声で和やかに歓談となり、小倉 淳副会長の中締めにより閉会した。



芸妓衆による金沢風雅



吉光会長挨拶



谷本正憲
石川県知事



馳 浩
衆議院議員



佐々木 紀
衆議院議員



西田昭二
衆議院議員



山田修路
参議院議員



宮本周司
参議院議員



佐藤信秋
参議院議員



足立敏之
参議院議員



作野広昭
県議会議長



吉岡幹夫
北陸地方整備局長



焼田宏明
県議会副議長
(乾杯)



小倉 淳
副会長
(中締め)

最近の完成工事から

真脇トンネルの開通について ～80年以上経過した在来トンネルの拡幅～

石川県奥能登土木総合事務所

1 はじめに

主要地方道能都内浦線は、能登町宇出津から松波までの沿岸部を周遊し、内浦側の各集落を結ぶ重要な生活道路であるとともに、海岸線を巡り、観光地を繋ぐ観光周遊道路としても大切な役割を担っています。しかしながら、真脇地区と小木地区をつなぐ真脇トンネルは、昭和7年の完成から86年が経過し、老朽化が著しいうえ、幅員が非常に狭く、大型車とのすれ違いができない状態であったことから早期の整備が強く求められていました。

このため、県では、平成28年より既設のトンネルを拡幅する工事に着手し、皆様のご協力をいただきながら工事を進め、平成30年11月11日に開通式を迎えました。



図 - 1 位置図



整備前



整備後

写真 - 1 完成写真

2 事業概要（真脇トンネル区間）

路線名：主要地方道能都内浦線

事業箇所：能登町字真脇～字小木

延長：L=0.6km

うち真脇トンネル L=310.9m

幅員：〔一般部〕W=6.0(8.5)m

〔トンネル部〕W=6.0(7.0)m

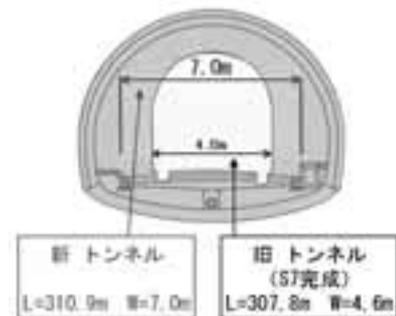


図 - 2 拡幅断面図



図 - 3 事業区間平面図

3 在来トンネルの拡幅

既設の真脇トンネルは、ほぼ全区間で覆工の背面に空洞が確認されました。このため、既設トンネル直上からの垂直ボーリングと孔内カメラ観察を実施し、空洞の位置や大きさなどの把握を行ったうえで、掘削前に空洞部に対しエアモルタルや可塑性エアミルクを充填しながら施工を行いました。また、拡幅断面のトンネルセンターは、終点側に向かって山側に移行することから、側面においても図-4に示すように既設トンネル跡の空隙が生じることとなり掘削時の安定性に懸念があったことから、同様にエアモルタルの充填を行い、地山の再構築を行いました。これらの対策により安定した切羽を確保しながら無事に工事を完成させることができました。



写真-2 拡幅開始時の坑口

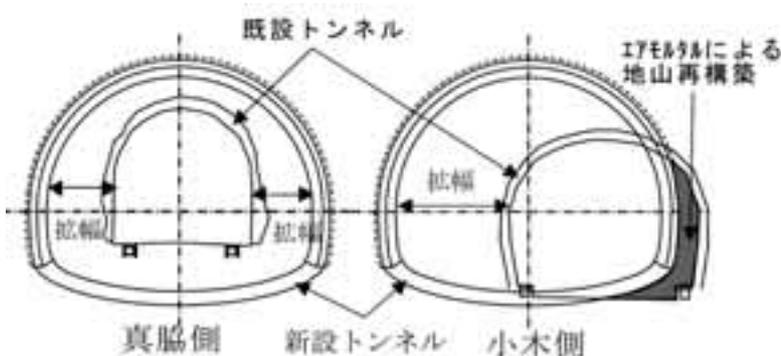


図-4 センターの偏芯による空隙への充填



写真-3 既設トンネル背面の空隙への充填

4 開通式

平成30年11月11日には、谷本知事、能登町長をはじめ、多数の関係者列席のもと、盛大に開通式が執り行われました。式典後のアトラクションでは、地元の真脇地区からは高倉保育所の園児による【よさこい踊り】、小木地区からは小木こども園の園児による【鼓笛演奏】が披露され、式典に華を添えていただきました。

その後の一般供用開始時には新しいトンネルを続々と車が往来し、地元の皆様からも「いいがになったね」と嬉しいお言葉をいただきました。



写真-4 高倉保育所の園児の皆さん

5 さいごに

このトンネルの開通により、安全で円滑な交通が確保されるとともに、周辺の観光名所へのアクセスが向上し、能登地域の発展にも大いに寄与するものと考えています。

貴重な用地をご提供いただきました地権者の皆様方をはじめ、多大なるご尽力を賜りました関係各位にこの場をお借りして感謝申し上げます。



写真-5 小木こども園の園児の皆さん

平成30年度 農林水産部優良建設工事 知事表彰の紹介

vol.1

施工企業名：南建設株式会社

工事名 平成28年度 県営ほ場整備事業（農業法人育成型）相神地区 取水施設工事

施工場所 羽咋郡志賀町相神 地内

工事概要

取水施設工 N=1箇所

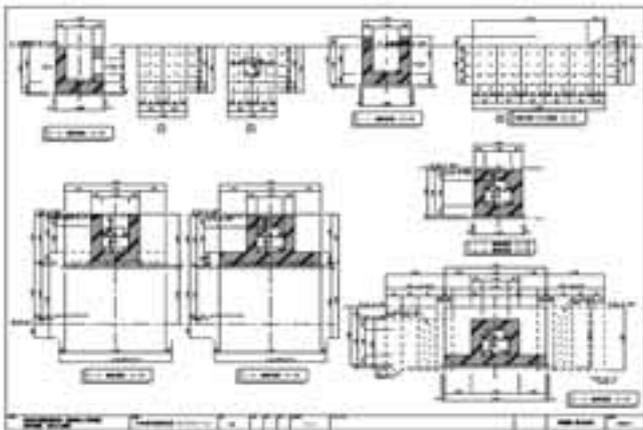
工期 平成29年10月24日～平成30年3月15日



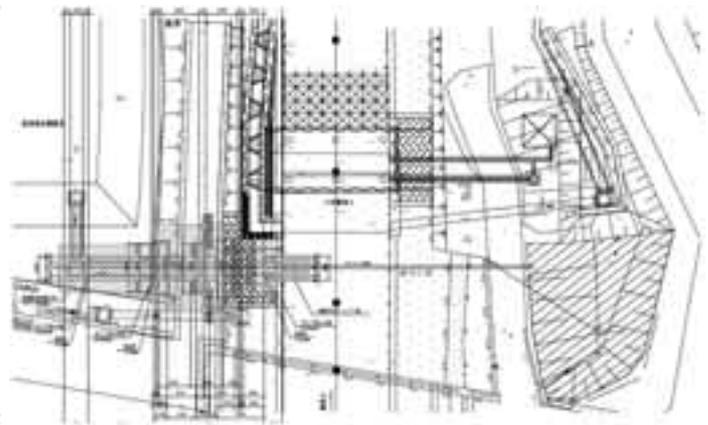
完成写真

推薦理由

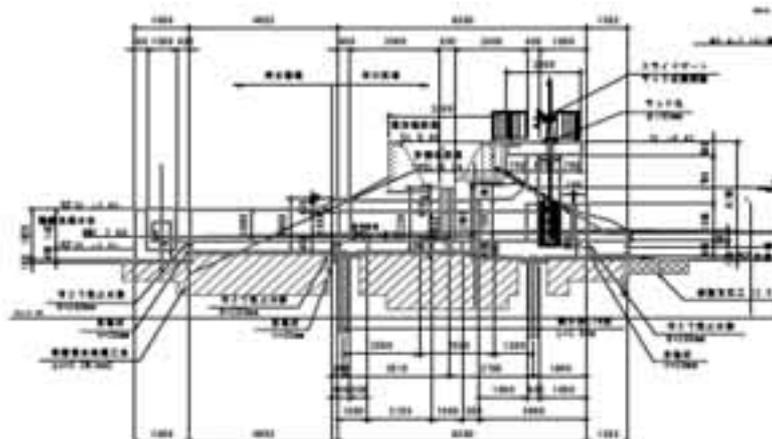
本工事は、国道橋梁に近接した2級河川堤防を開削する工事であったが、仮設鋼矢板打設を無振動で行うなど、影響を極力小さくするよう努めた。また、冬期のコンクリート打設において、事前に温度応力解析を実施し、養生方法の決定とともに、NETIS登録技術を積極的に採用し、良好な出来映え、品質を確保した。



型枠の割り付け図を作成。



平面図



縦断面図



レイタンス処理に『ジョインテックスCT-400』
(NETIS:KT-070054-VE)を使用。



鋼矢板打込状況



コンクリート温度測定状況



コンクリート養生状況

現場代理人のコメント



現場代理人
南 恵三氏

この度は知事表彰という過大な表彰を頂きまして、大変感謝しております。ご指導を賜りました発注者の皆様、また地元住民、関連工事、協力業者の皆様には深く、感謝しております。本当にありがとうございました。

当該事業は、関連工事が輻輳しており、当該事業の全体工期を確保するため、特に当該工事は工程の短縮を必要とされました。当社は工程を確保しつつ、構造物の品質を確実に確保することに配慮しました。結果、関係他業者への引継ぎ・引き渡しを終えて、事業の全体工期を確保できました。

当該工事の現場においては、国道橋梁に近接しており、上空にも高压電線があり、クレーンでの矢板打込みが困難でしたので、鋼矢板の打込みに配慮しました。鋼矢板の打込みには弊社所有機械の油圧ショベル装着式高周波パイプロとサイレントパイラーを使用しました。その結果、線下での安全な施工及び既設構造物付近の狭い場所での施工が可能になりました。通常のパイプロに比べ振動を抑えての施工になり、懸念された国道への影響が及ぶこともなく作業を終えることができました。

構造物の品質確保においては、温度解析による温度管理、新技術の使用を行いました。加えて、事前に型枠の割り付け図を作成しました。これにより、型枠作業の精度確保・工程の短縮に繋がりました。

最後になりますが、工程管理が難しいなか、皆様の支えのおかげで、安全に工事を竣工できたことを深く、感謝いたします。

雇用改善コーナー

平成30年度 富士教育訓練センター派遣事業の実施について

雇用対策特別委員会（委員長 岡 昌弘）は、県協会の会員企業等に就職が内定している県内の工業系・普通科高校生を対象に毎年2月、社会人としてのマナー・技能資格の取得を目的として、富士教育訓練センターへの派遣事業を実施している。

本年度は、「就職前準備研修」2日間、「技能講習」6日間とし、2月9日(土)から16日(土)までの7泊8日の日程で、下記参加者34名にて派遣事業を実施することとした。なお、上記期間中は事務局が引率する。

学校名	参加者名			
金沢市立工業高等学校	中村 一真	藤原 颯	青木 成斗	池上 景偉
	磯上 颯	今村 竜一	岡山 哲也	清水 聖央
	惣田 滉人	東田 直士	福田 一生	吉田 龍世
	利田 孝介	川下恵理佳	生地 萌	中越 友梨
	幡野 愛佳			
石川県立小松工業高等学校	赤地 由衣	笠間 大輝	谷崎 雄哉	土上 嗣朗
	中村 雄也	宮城 可菜	宮田 和季	山本 愛華
石川県立羽咋工業高等学校	北 蓮次郎	野口 翔太	二津 陸	府中 亮太
	蔵谷 和秀	米谷 竜樹	佐垣 杏侑	坂口 陽音
石川県立穴水高等学校	宮下 直也			

平成30年度インターンシップの実施状況について

平成30年度の県内の工業系高校のインターンシップは、本年7月から始まり12月をもって終了しました。建設産業の担い手不足が叫ばれ、特に若年労働者の確保が急務となっておりますが、平素より若年建設労働者の現場教育の重要性と必要性に深く理解を示され、本年度も生徒の受入れを快く承諾いただきました企業の皆様に心より感謝申し上げます。なお、本事業における総括として本稿に実習生の受入れ状況を掲載し、あらためて受入れ企業の皆様方に敬意を表させていただきます。

また、本年度のインターンシップの受入れに関し仲介の労をいただきました(一社)金沢建設業協会、(一社)加賀建設業協会、(一社)小松能美建設業協会、(一社)白山野々市建設業協会、河北郡市土建協同組合、(一社)羽咋郡市建設業協会及び(一社)七尾鹿島建設業協会の皆様に心よりお礼申し上げます。

金沢市立工業高等学校

実習生 建築科2年生(8名)
期 間 7月23日(月)~27日(金)までの5日間

実習生徒名	受入企業(協会名)
小谷 涼太	みづほ工業(株)
島田 尚	(金沢協会)
駒木 翔太	兼六建設(株)
原 湧大	(金沢協会)
中村 優斗	真柄建設(株)
山本 純平	(金沢協会)
松岡 胡琳	(株)豊蔵組
南 広菜	(金沢協会)

金沢市立工業高等学校

実習生 土木科2年生(6名)
期 間 8月20日(月)~23日(木)までの4日間

実習生徒名	受入企業(協会名)
宇井 健太	(株)北都組
鈴木 歩叶	(金沢協会)
石田 裕二郎	(株)明翫組
里見 颯斗	(金沢協会)
中川 翼	日本海建設(株)
中村 理夢	(金沢協会)

石川県立翠星高等学校

実習生 総合グリーン科学科2年生(21名)
 期 間 9月19日(水)~21日(金)までの3日間

実習生徒名	受入企業(協会名)
元木 琉偉	(株)松建 (白山野々市協会)
松本 隼汰	(株)松建 (白山野々市協会)
濱本 駿吾	(株)共和建設 (白山野々市協会)
池本 勇大	(株)共和建設 (白山野々市協会)
奥村 愛斗	(株)ヨネミツ (白山野々市協会)
出村 飛人	(株)ヨネミツ (白山野々市協会)
池田 優兼	白山建設(株) (白山野々市協会)
宮川 昂大	白山建設(株) (白山野々市協会)
藤本 怜輝	(株)酒谷組 (白山野々市協会)
中西 翔英	(株)酒谷組 (白山野々市協会)
端持 山翔	(株)小山組 (白山野々市協会)
山田 力斗	辰野建設工業(株) (白山野々市協会)
森田 祥祥	辰野建設工業(株) (白山野々市協会)
重光 大広	沢田工業(株) (白山野々市協会)
明石 拓也	沢田工業(株) (白山野々市協会)
宮川 大晟	(株)協和道路 (白山野々市協会)
塩田 拓拓	(株)協和道路 (白山野々市協会)
油野 友瑠	北川ヒューテック(株) (白山野々市協会)
土田 悠斗	石川農林総合事務所
高嶋 悠矢	石川農林総合事務所

実習生徒名	受入企業(協会名)
田中 十夢	道場建設(株) (小松能美協会)
西出 真翔	道場建設(株) (小松能美協会)
奥光 太郎	高藤建設工業(株) (小松能美協会)
和田 泰我	高藤建設工業(株) (小松能美協会)
竹崎 翔馬	(株)吉光組 (小松能美協会)
坂東 立基	(株)吉光組 (小松能美協会)
坂本 樹彦	(株)トーケン (小松能美協会)
西田 彦凌	(株)トーケン (小松能美協会)
澤田 要音	(株)江口組 (小松能美協会)
高藤 音飛	(株)江口組 (小松能美協会)
新谷 一真	(株)寺田鉄工建設 (小松能美協会)
渋谷 碧哉	船山建設(株) (小松能美協会)
武部 佑哉	船山建設(株) (小松能美協会)
田中 優親	一松建設(株) (小松能美協会)
吉田 伊吹	一松建設(株) (小松能美協会)
上田 新太	灰田建設(株) (小松能美協会)
小山 弘翔	灰田建設(株) (小松能美協会)
永田 大輝	(株)白原組 (小松能美協会)
中村 碧志	白山道路(株) (小松能美協会)
林 天磨	白山道路(株) (小松能美協会)
西野 悠真	小川建設(株) (加賀協会)
山野 愛純	太陽工業(株) (加賀協会)

石川県立小松工業高等学校

実習生 建設科2年生(37名)
 期 間 10月16日(火)~18日(木)までの3日間

実習生徒名	受入企業(協会名)
大田 泰誠	中島建設(株) (小松能美協会)
大橋 佑太郎	松浦建設(株) (小松能美協会)
牧野 恭祐	松浦建設(株) (小松能美協会)
金井 想太	(株)高木組 (小松能美協会)
板倉 拓海	石川舗道(株) (小松能美協会)
水口 玲音	石川舗道(株) (小松能美協会)
岩村 力哉	誠和建設(株) (小松能美協会)
橋 美尋	誠和建設(株) (小松能美協会)
金子 健大	(株)丸西組 (小松能美協会)
米一 翔生	(株)丸西組 (小松能美協会)
高地 佳刀	加越建設(株) (小松能美協会)
田中 秀征	加越建設(株) (小松能美協会)
川上 孝幸	横山建設(株) (小松能美協会)
山下 剛琉	横山建設(株) (小松能美協会)
寺岡 美香	(株)中東 (小松能美協会)

石川県立羽咋工業高等学校

実習生 建設造形科2年生 土木コース(15名)
 期 間 12月12日(水)~14日(金)までの3日間

実習生徒名	受入企業(協会名)
宮下 航太郎	(株)麴香重機建設 (河北組合)
稲岡 稜真	南建設(株) (羽咋都市協会)
源代 圭次郎	石田工業(株) (羽咋都市協会)
西葉 悠斗	勝二建設(株) (羽咋都市協会)
佐恒 恒太	勝二建設(株) (羽咋都市協会)
猿田 楓	小倉建設(株) (羽咋都市協会)
原 陸斗	(株)大窪工務店 (羽咋都市協会)
大根 賢斗	(株)沢野組 (七尾鹿島協会)
永滝 由汰	(株)沢野組 (七尾鹿島協会)
北島 侑弥	(株)林組 (七尾鹿島協会)
文村 泰誠	(株)林組 (七尾鹿島協会)

実習生徒名	受入企業（協会名）
高橋 大翔	(株)山崎建設 (七尾鹿島協会)
福田 圭佑	(株)戸田組 (七尾鹿島協会)
森田 健心 山邊 純聖	壁屋建設(株) (七尾鹿島協会)

石川県立羽咋工業高等学校

実習生 建築造形科2年生 建築コース(15名)
期間 12月12日(水)~14日(金)までの3日間

実習生徒名	受入企業（協会名）
中村 烈 三浦 鈴	(株)表組 (河北組合)
吉田 樹生	(株)鷹香重機建設 (河北組合)

実習生徒名	受入企業（協会名）
寺下 将生 藤岡 佑弥	アオイ建設(株) (七尾鹿島協会)
原 佑弥 山元 智尋	(株)杉本工務店 (七尾鹿島協会)
宮本 翔太 池 高 祐依	ナナオ土建(株) (七尾鹿島協会)
出島 光翔 道辻 敬太	南建設(株) (羽咋郡市協会)
濱下 敦郎 川浪 彩香	小倉建設(株) (羽咋郡市協会)
津田 翔也	(株)大窪工務店 (羽咋郡市協会)
丸山 倅希	寺井建設(株) (羽咋郡市協会)

金沢市立工業高校インターンシップ感想文

働く上で何が大切かを知りました。

土木科2年 宇井健太
(受入企業 (株)北都組)

私はこの就業体験学習で「働く」ということと働く上で何が大切かを知ることができました。

この四日間で私は「働く」ということの過酷さを知りました。それは私達より遥か上の年齢の人と一緒に仕事をしないといけないからです。年配の方々と私達とでは見てきた景色が全く違うと思います。そのため少しでもミスをしてしまうとすぐ指摘され、指摘されるのを嫌がって慎重に作業をしてしまうと効率が落ち、多くの方々に迷惑をかけてしまいます。だからいかにミスを犯さず効率よく作業を行うことが大切だと感じました。また、人の目を見て話を聞くことの大切さとあいさつの大切さを実感しました。一見平凡な考えだと感じますが職場の方々は挨拶が小さいと聞こえてないから、聞こえてなければ挨拶をしていないことと同じだと思ったからです。

以上のことから「働く」ということと働く上で大切なことを少しは知ることができたのではないかと思います。

工事部長さんは、働く上で最も大切なことは安全だとおっしゃっていました。

仕事仲間が怪我をしてしまったら意味がなく、その話を聞いた時に私は働くということは過酷なことだと感じました。短い期間でしたがとても貴重な体験をさせていただきありがとうございました。今後の進路に活かしていきたいと思います。

コミュニケーションの必要性を学びました。

建築科2年 小谷涼太
(受入企業 みづほ工業(株))

みづほ工業株式会社の本社と県央土木総合事務所等移転整備工事の現場で作業させていただきました。

そこで感じたことは、従業員一人ひとりがお客様のことを思っているということです。本社の方では、気軽に入れるように玄関に季節ごとの飾り付けがしてあり、現場の方では「世界一きれいな現場」を掲げ、お客様のために仕上げ材は養生をして傷つけないようにしたり、お客様専用のスリッパを用意したりする

などの気配りがされていました。また、住宅建築の現場は整理整頓がされていて、お客様が来ても気持ち良くなる現場だと思いました。

私が体験して一番大変だったのは、県央土木総合事務所の現場で外壁にある水抜きパイプの位置を確認したことです。足場を歩き来しながら水抜きパイプが入ってないところがないかを確認していくのですが、自分が今何階にいるのか分からなくなって迷うことや本数が間違っていないかを確認するために何度も同じところを歩き来するのが大変でした。

職人さんたちの作業や会話を間近で見学することができ、また、現場での測量の仕方など初めてのことも多かったのですが、特にCADでは、学校での操作とは違って効率的に描いていくなど新しい発見もたくさんできました。

この五日間の就業体験で、働くということは決して一人では出来ないのも仲間とのコミュニケーションが必要になるということがわかりました。私も将来のために仲間と協力しあい、コミュニケーションを大切にしていきたいと思います。たくさんの方の事を学ばせていただきありがとうございました。

貴重な体験をさせていただきました。

土木科2年 中村理夢
(受入企業 日本海建設(株))

8月20日から4日間、日本海建設株式会社で貴重な体験や見学をさせていただきました。

1日目は、犀川で水準測量とトラバース測量をさせていただきました。普段学校でやっている測量に比べ距離が長く見にくかったため誤差が出てしまいましたが担当の方が優しく励ましてくれたのでとても安心することができました。

2日目は、橋立漁港と加賀コンに行きました。橋立漁港ではテトラポットの上での測量や役所の立ち合いを見させていただきました。どちらも普段体験できないことなのでとても勉強になりました。加賀コンでは様々なコンクリート製品を見させていただきました。

3日目は、手取川コンクリートに行きました。ここではコンクリート作りやスランプ試験、工場見学をさせていただきました。コンクリートを作ったときは材料もたくさんありなおかつ材料を混ぜるのがとても力を使いました。スランプ試験では自分だけよくわからない数値が出てしまったので反省したいと思いました。

4日目は、海岸での測量補佐と検査立ち合い、富山県境にある太陽光発電所の見学をしました。

この4日間の経験を今後の高校生活に活かしたいと思います。貴重な体験や、見学させていただきありがとうございました。

現場は安全第一ということがわかりました。

建築科2年 山本純平
(受入企業 真柄建設(株))

私は、この実習で建築現場の仕事についていろいろ学ぶことができました。

現場の仕事は、暑い日にも仕事をしなければならないのでとても大変でしたが、教科書に載っていたスランプ試験を現場で見ることができ、とても勉強になりました。

コンクリート打設作業では、コンクリートを流し込んだ後に巣ができないように振動を送る機械の線持ちをさせて頂きました。鉄筋に線が引っかからないように持っているだけでも大変でしたが、職人さんはもっと重たいホースを持ちながら作業をしていたので本当に大変な作業だと思いました。

また、現場での測量は、水平をとりながら機械の高さを合わせる事が難しく、据え付けに時間がかかってしまいましたが、職人さんは据え付けが早く驚かされました。

施工管理の仕事では、品質、工程、安全、原価が大切だと教えて頂きました。特に安全管理のために現場に入っている職人さんの血液型や緊急連絡先等が書かれた書類を備え付けてあったり、毎日の安全打ち合わせや月一回の安全協議会が行われるなど、安全は現場の中で一番大切なことだということがよくわかりました。

この五日間の経験を活かして、これからもっと建築の勉強をしていきたいと思います。

真柄建設株式会社の皆様ありがとうございました。

地元建設業界の景気

～建設業景況調査 石川県版 平成30年度第3回より～

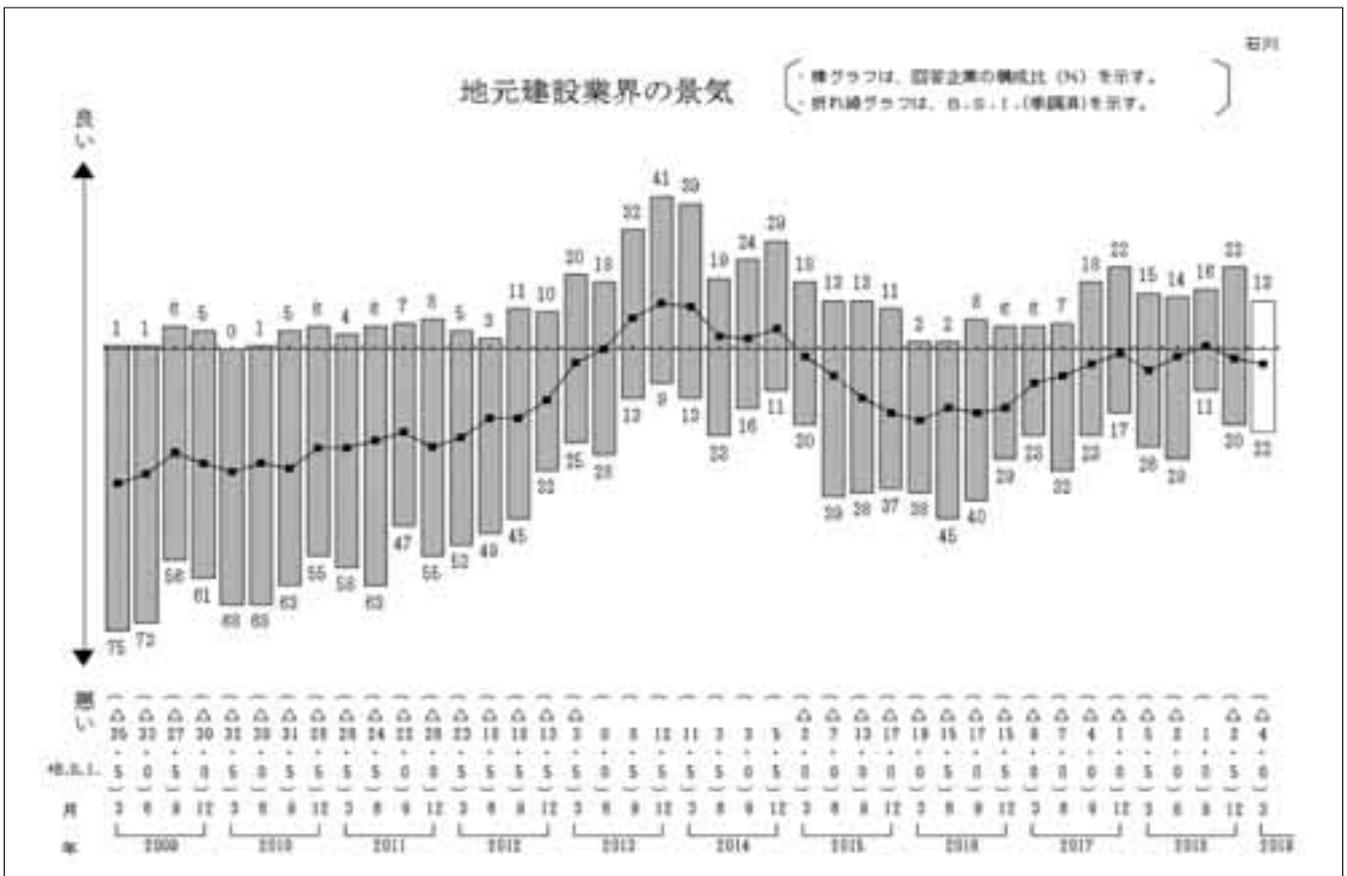
東日本建設業保証(株) 石川支店

今 期	悪い傾向に転じている。
	B.S.I.値は 2.5(前期1.0)となっており、「良い」から「悪い」傾向に転じている。

「今期」:平成30年10月～12月 実績

来 期	悪い傾向が続く見通し。
	不変とする企業が6割を超え、基調は変わらず、「悪い」傾向が続く見通し。

「来期」:平成31年1月～3月 見通し



【B.S.I.の見方】

B.S.I.(ビジネス・サーベイ・インデックス=景況判断指数)は、「良い」「悪い」など意識調査の回答数の構成比から全体の趨勢を判断するものです。

以下の計算式により数値化して求められます。

$$\frac{(\text{「良い」と回答した企業割合} - \text{「悪い」と回答した企業割合}) \times 1/2}{\text{「変わらず」は除いて計算}}$$

「地元建設業界の景気」等の季節変動の影響を受ける指標は、季節調整値を表示しています。

地区協会コーナー

～能登半島の最高峰、宝達山から美しい日本海の砂浜へ
過酷なコースと幸せ一杯のおもてなし～

「宝浪漫マラソン」

(一社)羽咋郡建設業協会

宝達志水町では豊かな自然資源をより多くの皆様に体感していただくために、町のシンボルである「宝達山」や「なぎさドライブウェイ」を舞台として、昨年9月23日(日)に「宝浪漫マラソン2018」を開催しました。



マスコットキャラクター「ほっぴーさん」との記念撮影

宝達山から美しい千里浜の砂浜を走り抜ける雄大なコースと、幸せいっぱいのおもてなしを存分に味わうことができるこの宝浪漫マラソンは、自然豊かな景色を眺めながら走ることができるのはもちろんのこと、エイドメニューとして、町のご当地グルメであるオムライスをはじめ、宝達葛、シャインマスカット、トマト、イチジク、チンゲン菜スープ、おだまき、さらに、ゴール後にはルビーロマンケーキまで、どんどん提供される食も盛りだくさんな大会でした。

参加者の方からは、宝達志水町ならではの温かいおもてなしを存分に味わうことができたと、嬉しい声をたくさんいただくことができました。

このほか、ランナーを励ますために設置された「キロ数表示看板」は地元の宝達中学校の生徒に制作をお願いしました。出来上がった看板の一言コメントはユニークなものが多く、消防署手前の看板では、「消防署はもうすぐ！倒れるなら、今だ！」という個性が光る看板など、思わず笑ってしまうようなほっこりとした作品で、たくさんのランナーたちを元気づけていました。

また参加記念品としてスタッフやボランティアに配布された漫画「花の慶次」のデザインTシャツが“かっこいい”と、とても評判でした。

(宝浪漫マラソン オリジナルTシャツ)

町にある県指定の歴史文化財末森城跡は、佐々成政の軍を退けた末森合戦の舞台となった場所です。

この戦いがきっかけとなり前田家加賀百万石の礎が築かれたと伝えられており、この時の城主が奥村助右衛門で、漫画の主人公前田慶次の生涯の友として「花の慶次」に登場することから、町の観光ポスターにも起用しており今回、マラソンのTシャツにも採用されました。

宝浪漫マラソンは2019年度も開催する予定です。宝達山から美しい日本海の砂浜を走り抜ける自然豊かなコースと、幸せいっぱいのおもてなしを今年もたくさんの方に体験していただきたいと考えておりますので、皆さんも是非エントリーしてみたいはいかがでしょうか。



エイドステーションの様子

(資料提供：宝達志水町企画振興課)

会員リレーコーナー

182 株式会社北陸工建

(所在地：金沢市米泉7丁目23番地2)

弊社は、昭和41年に北陸鉄道株式会社の関連企業として創業し、北鉄グループの保全や一般住宅・企業様の施工など、土木事業・建築事業を主に仕事をしてまいりました。何度か時代の波に飲まれそうな時期もありましたが、民間だけでなく、公共工事にも参加していくなど、その時々に変化しながら創業より52年が過ぎました。一時土木部門が別会社となりましたが、近年は土木事業も復活し、建築事業ともども協力しながら進めています。

昨今の課題としては、社員の高齢化と人員不足です。若い方々が働きやすいようにデジタル化や、現場の清潔さ、「いしかわ男女共同参画推進宣言企業」に登録し、子育て世代に休暇を取りやすくしたり、家族団らんに一役と思い、誕生月にお肉のプレゼントをしています。又、社員が自分自身で、個々の目的をもって頑張れるよう

に「自己啓発手当て」を作りました。会社で金銭的に少しでも応援できるようにと考えてです。各自がレベルアップするために使ってくれているようです。

昨年末この地に社屋の新築・移転が叶い、社員一同会社を良くするためのスローガンを、「無事故・無災害を目指そう」「社内・社外のコミュニケーションを大切に」とし、顧客様のご期待に添いつつ、社員の増員を目指し働きやすさと、健康に配慮した会社でありたいと願っています。

今回は西村建設(株)代表取締役 西村正宏さんにバトンをお渡ししますので、よろしくお願いいたします。

(株式会社北陸工建 代表取締役 西田 勲)



社屋



今月の「輝き！」さん

No. 47



北川ヒューテック株式会社 森 俊輔さん

業 種：工事部主幹
 経験年数：8年
 年 齢：30歳

金沢市神田1丁目の北川ヒューテック(株)の本社に今月の輝きさんの森俊輔さんを訪ねました。

- 最初にあなたの会社について教えてください。

私が勤務する北川ヒューテック株式会社は、昭和22年創業の道路事業を軸に、土木、建設、環境などの事業を行う従業員数367名の会社です。金沢と東京に本社機能を持ち、東北、中部、関西、中国、四国、九州にそれぞれ支店を置き、全国30か所以上を拠点として事業を展開しています。私は、金沢本社の工事に所属しています。

- あなたの経歴とこの会社への入社動機について教えてください。

私は小松市で生まれ、地元の小・中・高校を経て金沢工業大学工学部環境土木工学科を卒業しました。就職に際しては、当初県外企業も考えましたが、自分が生まれ育った地で、地域の発展に貢献していくことができる県内の企業が良いと思い、自分が学んできた土木の知識を十分に活かせる今の会社に入社を決めました。

- 入社して8年ということですが、心に残る現場などありますか？

入社して数年目に、富山県新湊の港湾整備事業で、岸壁の補修工事を担当しました。初めて経験する工事だったことに加え、冬場の悪天候でコンクリート打設など困難を極めました。関係者の皆さんの協力も頂き工期内に工事を終わることができました。苦労はありましたが仕事の工程管理の重要性を学ぶことができ大変勉強になりました。その後、平成29年に金沢東部環状道路の四車線化事業に伴う神谷内舗装工事の現場代理人を務めました。この現場は規模も内容もこれまでにないもので、しかも大雨等天候不順に見舞われ、改めて建設業は天候に左右される仕事であることを痛感しました。ただ、こうした現場を経験したことで技術力はもちろん、体力、忍耐力もつきましたし、今後活かせる貴重な体験をさせて頂いたと思っています。

- どんな時に仕事のやりがいを感じますか？

会社は、大規模な幹線道路の工事だけではなく、住宅街の生活道路の改修など小規模な工事も行いますが、完成後に地域の方に「きれいになったね」と声をかけていただくことがあります。そういうときにこの仕事を選んで良かったと思いますしやりがいを感じます。

- 休日の過ごし方、趣味について教えてください？

高校、大学と陸上競技の短距離をやっていました。今はトラックを走ることもありませんが、休日には、趣味として筋力トレーニングをやっています。いつかトラックに戻れるようトレーニングを頑張ります。

- 最後に今年の目標、将来の夢は？

6月に実施される「舗装診断士」の資格試験合格を目指します。この資格は、(一社)日本道路建設業協会が、既設舗装の調査や適切な維持・修繕工法の選定などができる高い専門知識を有する技術者に与える資格です。常に自分のスキルを高めることで少しでも会社へ貢献できればと思っています。

HELL OF FIVE
FIREMAN

けんせつ一番星

「-Sunset Express-MOVE」毎月第4火曜日 18:00~18:05

エフエム石川で毎回、建設業界で働く業界のホープ「けんせつ一番星」の方にインタビューし建設業界の魅力や仕事への意気込みなどに迫ります。

是非お聞きください。

おすすめ
vol.3
県政出前講座

今月のテーマ

3Dプリンタについて

石川県工業試験場

「3Dプリンタについて」では、近年、製造業のほか個人でも利用が普及している3Dプリンタを活用したものづくりを紹介します。

ものづくりに携わる企業の皆様が、目的や用途に応じた3Dプリンタの活用を今後ご検討頂く際のご参考になれば幸いです。

3Dプリンタの種類

3Dプリンタの種類と使い分けなどについて、樹脂用、金属用、石膏用などの造形方式の違いや、それぞれの特徴を説明します。



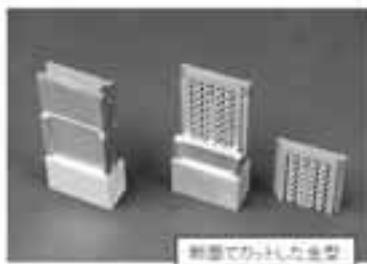
3Dプリンタによる造形

造形事例

3Dプリンタを使うとどのような造形物が試作できるか、様々な事例を紹介します。将来的には建設部材の製作などにも用途が広がっていくものと期待されています。



ヒンジ部品
(樹脂3Dプリンタ)



内部水管が3次元格子構造の金型
(金属3Dプリンタ)



九谷焼絵柄模様の器
(石膏3Dプリンタ)

3Dプリンタによる造形方法

3次元CADシステムで造形データを作成し、3Dプリンタで造形するまでの手順を説明します。

県政出前講座について

【テーマは何種類？誰が説明？】

県政出前講座では、上記で紹介したテーマの他、約140件のテーマからお好きなテーマを選ぶことができます。説明は各テーマ担当課職員（県庁職員）が説明します。

【費用と所要時間は？】

職員の派遣に関する費用（旅費・軽微な資料代など）は、不要ですが、会場は申込団体でご用意ください。講座の所要時間は1時間から1時間30分程度です。

【受講する人員は？】

おおむね10人以上から受講できます。

【申し込み方法は？】

石川県ホームページから（<http://www.pref.ishikawa.lg.jp/kenmin/demae/>）詳しい申し込み方法をご覧ください。「石川県 出前講座」で検索してもすぐ見つかります。

パンフレットをお求めの方は、石川県広報広聴室までお問い合わせください。

（石川県広報広聴室 電話：076-225-1362 メール：e130500b@pref.ishikawa.lg.jp）

協会だより

佐藤信秋 参議院議員国政報告会の開催

(一社)石川県建設業協会(会長 吉光武志)は、1月21日(月)午後5時10分からホテル日航金沢において、佐藤信秋参議院議員をお迎えし国政報告会を開催した。

佐藤議員からは、新3K(給与、休日、希望)の実現をはじめ、国土強靱化基本計画の策定による事業の長期的、着実な推進、設計労務単価アップなど、建設産業を魅力ある職場にするために取り組んでおられる活動について詳細に報告いただいた。

佐藤議員は、建設産業の健全な発展のためには、企業が利益を残すことができ、労働者の賃金を引き上げていけるような体制づくりが必要であり、そのためには、受注者が適正な利益を得られるようにすることが発注者の責務であると述べられた。

報告会終了後、吉光会長、副会長及び9地区協会長が壇上に上がり、本年7月に予定されている参議院議員選挙に出馬予定の現職佐藤議員の上位当選を目指して、鶴山庄市県協会副会長(佐藤信秋 石川県建設業後援会幹事長)の音頭で「がんばろう三唱」を行った。



佐藤信秋参議院議員



全景



がんばろう三唱

委員会の開催

土木委員会

第5回正副委員長会議の開催

土木委員会(委員長 竹腰勇ノ介)は、1月10日(木)に正副委員長会議を石川県建設総合センター会議室において開催した。

今回は2月1日(金)に行う「金沢河川国道事務所との意見交換会」の提案議題について審議を行うもので、会員企業から寄せられた入札契約関係や総合評価関係、設計積算関係、施工計画関係、監督検査などに関する議題について項目毎に審議を行い、17議題を意見交換会の提案議題として選定した。



土地改良委員会

第2回技術検討部会の開催

平成30年度第2回土地改良委員会技術検討部会(部会長 小柳 誠)が1月29日(火)午前11時から石川県建設総合センター401会議室で、小柳部会長以下15名の幹事の出席のもと開催された。

小柳部会長の開会挨拶の後、事務局より「県農林水産部との意見交換会」と「土地改良委員会全体会議」の二つの議題について提案、審議された。

県農林水産部との意見交換会については、2月20日(水)午前10時30分から金沢ニューグランドホテルで北出一郎県農林水産部技術管理室長以下4名の幹部の出席のもと開催することとした。

この意見交換会での要望事項は、昨年末に実施した土地改良委員会役員による要望活動内容を踏まえ、技術検討部会幹事から寄せられた施工実態に応じた積算、変更対応等の要望などについて審議し、具体的な要望内容を意見集約した。

また、土地改良委員会全体会議については、3月20日(水)午前10時30分からANAホリデイ・イン金沢スカイにおいて、県農林水産部次長(農業土木担当)以下3名の幹部の出席のもと、事業報告や講演会などを開催したい旨の報告があり、本委員会全会員の参加を募ることとした。

最後に、土地改良事業関係の予算については、国の平成31年度予算の概算決定と県の平成30年度12月補正予算について報告され閉会した。



広報・研修委員会

委員会の開催

広報・研修委員会(委員長 高田直人)は、1月21日(月)午後2時からホテル日航金沢において委員会を開催した。冒頭、高田委員長の挨拶が行われた後、下記事項について審議・報告を行った。

- 1 協会報2月号について
事務局説明の編集計画が審議され承認された。
- 2 研修所からのお知らせ
建設業税財務講習会の開催について報告がなされた。
- 3 視察研修について
視察研修の実施計画案について報告がなされた。



建設技術研修所

平成31年度 新入社員研修について

平成31年度の新入社員研修を東日本建設業保証(株)及び(一社)金沢建設業協会と共催で下記要領により実施いたします。本研修は、建設業界に新しく入られる社員を対象に、一日も早く社会生活のルールや仕事の基本を身につけ、企業の戦力として働くことができるよう経験豊かな講師により研修を行うものです。なお、陸上自衛隊金沢駐屯地のご協力を頂き、研修期間中に自衛隊の生活体験入隊(1泊2日)を実施することとしており、女性の体験入隊も可能となっております。多数、受講されますようご案内申し上げます。

なお、受講者が10名に満たない場合は、中止する場合があります。

記

研修の対象者

- ・県協会員企業、地区協会員企業、一般建設企業の新入社員。
- ・過去に本研修を受講していない者。平成31年度以前入社 of 社員でも可。
自衛隊の受け入れ枠が定められており、定員を超えた場合抽選となる場合があります。なお、外国籍の方は、自衛隊生活体験は対象外となります。

日 時

【研 修】平成31年4月2日(火) 9時~16時(受付8時30分より)

研修内容:「建設フレッシュマンの心得(仮)」等

【自衛隊生活体験】平成31年4月3日(水)~4日(木)(1泊2日)

場 所

- 【研 修】石川県建設総合センター 7階大ホール
 金沢市弥生2丁目1番23号 TEL: 076-242-1161
- 【自衛隊生活体験】陸上自衛隊金沢駐屯地
 金沢市野田町1丁目8番地

受講料

- 【研 修 の み】県協会員及び地区協会員 5,000円 (教材代含む)
 一 般 7,500円 (")
- 【研修と自衛隊生活体験】県協会員 10,000円 (教材、食事、宿泊代含む)
 地区協会員 15,000円 (")
 一 般 18,000円 (")

自衛隊生活体験のみの申込みはできません。

振込み先

石川県建設業協会技術研修所
 北國銀行 泉支店 (普) 72026

研修開催決定のご案内後、お振込みください。

受講申込み

- 【研 修 の み】2月28日(木)まで
 【研修と自衛隊生活体験】2月12日(火)まで

そ の 他

- ・研修の持参品 筆記用具(昼食はこちらでご用意いたします。)
 - ・自衛隊入隊時の持参品 作業着、トレーニングウェア、運動靴、腕時計等
- 自衛隊生活体験参加時における保険加入については、県協会の負担とさせていただきます。なお、詳しい日程、持ち物等の詳細案内は、参加者に後日、改めてご連絡いたします。

お申込み・お問合せ先

(一社)石川県建設業協会 担当: 本多

TEL (076) 242 1161 FAX (076) 241 9258 E-mail honda@ishikenkyo.or.jp

不慮の災害事故発生にそなえて

全建協連総合補償制度
自動車保険

お問い合わせは・・・



石川県総合建設業協同組合

損害保険ジャパン日本興亜株式会社
 損保ジャパン日本興亜保険サービス株式会社

TEL 076 - 231 - 7787

FAX 076 - 231 - 7766

〒920 - 0919 金沢市南町5 - 20

中屋三井ビル2F

国土交通省、建設産業人材確保・育成推進協議会 主催

平成30年度

「私たちの主張」応募作品の紹介

「母の口癖」

株式会社 高田組 蔵下祐生

「人の役に立ちなさい」この言葉が、母の口癖であった。小さい頃の私には、この意味がわからなかったが、ずっと心の中に引っかかっていた。そして、今は「人の役に立つ」ということがどういうことが少しわかってきた気がする。

私は、高校や大学で商業や経済に関することを学んでいた。いよいよ就職活動の時期に入り、自分が何をしたいか考えていた時、どういった業界で働きたいのか全くわからないことに気が付いた。友人たちは働きたい業界を決めて就職活動をしており、私はそんな彼らを見て焦っていた。その頃、とある合同企業説明会に参加した際、建設業を営んでいる会社に出会った。私はその会社に一目惚れをした。その理由は、偶然にも中学校時代の友人が、イキイキとした目で自分の仕事を語っている様子を見たからである。友人だけでなく、その会社で働いている人がみんな輝いて見えた。建設業界について、全くといっていいほど知識はなかったが、地域に密着し、地域に貢献する仕事ができるということは、母の口癖でもある「人の役に立つ」ことができるのではないかと感じ、建設業への入職を決めた。

現在、この会社に就職して三年目を迎えた。今は、現場や総務関係の仕事など様々な業務に携わっている。こんな私が確信をもって言えることは、「建設業は素晴らしい業界」であるということだ。この業界では様々な依頼を土木構造物などといった形に残るものとして新たに作り出す。公共工事では、地域の方がより安全・安心・快適に生活を送れるように、また民間工事においてはマイホームなど、いろいろな方の夢・想いが詰まったものを作っていく。工事が終わった後の達成感はどう表現していいのかわからないくらいの感動がある。そして、なにより依頼者や、構造物を利用する方から「ありがとう」と言われた時の嬉しさは、作業をしてきた苦勞を吹き飛ばすくらいの満足感につながる。まだ入社してわずか三年だが、こんな

にも「ありがとう」と言われ、喜んで頂けたのは人生で初めてだ。

建設業の仕事は、社会資本を整備することはもちろんだが、災害時は復興作業を行うといった重要な役割もある。被災された方や地域の生活を一刻も早く元通りにするなど、責任は重大だ。このように快適に過ごせるようにだけではなく、人の命を守ることも仕事の一つなのだ。また、お客様の要望を実現するために毎日、試行錯誤を繰り返し仕事に取り組むという点では、サービス業としての一面も兼ね備えている。我々の役割は多種多様であり非常に重要なものであるのではないだろうか。一方で、建設業界は「3K」と言われることが多い。いわゆる「きつい」、「汚い」、「危険」である。私自身も決して楽な仕事だとは思っていない。夏の暑さや冬の寒さ、肉体労働や頭を使った仕事もある。世間では建設業に対してイメージが悪いといった認識もあるだろう。しかし、我々の仕事は重要な役割を担っている。この「3K」というイメージを強く持たれている方に言いたい。この業界で仕事をしている人が世界中に大勢いるということは、こういった「3K」を超える「何かがある」という裏返しではないだろうか。この「何か」について、私は仕事を通しての感動や社会貢献、すなわち「人の役に立てる」ことが最終的に自分自身や周りの人々を幸せな気持ちにさせることではないかと思っている。「3K」を超えるこの「何か」が建設業には詰まっており、人を惹きつけているのだ。

最後に、若い世代の方々に伝えたいことがあります。建設業は悪いイメージが先行されがちな業界ではありますが、本当に素晴らしい、人の役に立てる業界です。さらに新3Kとして、「給与」「休日」「希望」の実現に向けて取り組んでおり、今後益々魅力的な業界になっていくと思います。我々と共に、建設業界を盛り上げ、明るく幸せな未来を築いていきましょう。

業界時報

労働災害発生状況 ～建設業労働災害防止協会～

署別・業種別件数（平成30年分）

平成30年12月末 速報

業種別 署別	土木工事	建築工事	設備工事	計	前年同期	全産業
金沢監督署	8	(16)40	22	(16)70	(11)66	679
小松監督署	12	(7)17		(7)29	(5)20	267
七尾監督署	4	(5)7	10	(5)21	(4)20	123
穴水監督署	3	(8)12		(8)15	(5)15	69
計	27	(36)76	32	(36)135	(25)121	1,138
前年同期	27	(25)67	27	(25)121		1,029

()内は木建工事 内は死亡者数

平成30年度 建設工事受注高調（元請）

民間

（単位100万円）

	土 木			建 築			計		
	30年度	29年度	%	30年度	29年度	%	30年度	29年度	%
10月分	403	193	208.8%	2,405	2,183	110.2%	2,808	2,376	118.2%
11月分	186	108	172.2%	1,362	1,210	112.6%	1,548	1,318	117.5%
12月分	146	124	117.7%	1,575	1,695	92.9%	1,721	1,819	94.6%
年度累計	2,551	3,377	75.5%	20,344	23,640	86.1%	22,895	27,017	84.7%
28年度累計		3,863	66.0%		19,384	105.0%		23,247	98.5%
27年度累計		2,490	102.4%		22,751	89.4%		25,241	90.7%

官公庁

	土 木			建 築			計		
	30年度	29年度	%	30年度	29年度	%	30年度	29年度	%
10月分	5,034	4,857	103.6%	773	2,039	37.9%	5,807	6,896	84.2%
11月分	2,836	3,910	72.5%	450	5,219	8.6%	3,286	9,129	36.0%
12月分	2,646	2,348	112.7%	621	3,245	19.1%	3,267	5,593	58.4%
年度累計	31,601	29,679	106.5%	9,010	16,888	53.4%	40,611	46,567	87.2%
28年度累計		37,924	83.3%		10,769	83.7%		48,693	83.4%
27年度累計		32,937	95.9%		12,706	70.9%		45,643	89.0%

合 計（民間 + 官公庁）

	30年度	29年度	%
10月分	8,615	9,272	92.9%
11月分	4,834	10,447	46.3%
12月分	4,988	7,412	67.3%

	30年度	29年度	%
年度累計	63,506	73,584	86.3%
28年度累計		71,940	88.3%
27年度累計		70,884	89.6%

会員消息

今回届け出があったのは次の1件でした。

変更

会社名	変更前	変更後	変更年月日
	代表者	代表者	
勝二建設(株)	勝二 康邦	勝二 麻里	平成30年12月21日

なお、変更があった時点で届出頂くようお願い致します。

県協会からのお知らせ

平成31年2月行事予定

- 2月 1日(金) 翠星高校意見交換会 (翠星高校)
土木委員会 金沢河川国道事務所との意見交換会
(ANAホリデイ・イン金沢スカイ)
- 2日(土) 情報共有システム講習会
- 3日(日) 西田昭二新春国政報告会 (和倉温泉あえの風)
公明党「新春政経懇話会」(ホテル日航金沢)
- 4日(月) 北陸地方整備局との情報交換会
正副会長会議
常任理事会
- 5日(火) 工事安全施工管理技術研究発表会
(金沢河川国道事務所)
- 6日(水) 情報共有システム体験会(アイサス)
(金沢市立工業高校)
中金会懇談会〔商工中金〕(ホテル日航金沢)
新春講演会・新年祝賀会及び懇親会〔商工中金〕
(ホテル日航金沢)
- 7日(木) 北陸地方整備局との意見交換会
- 8日(金) 建築委員会 技術部会
- 9日(土) 高校生富士教育訓練センター派遣事業(～16日)
- 11日(月) 佐々木はじめ新春国政報告会 (小松市公会堂)
- 12日(火) 第2回北陸インフラメンテナンスフォーラム
(金沢河川国道事務所)
「北陸の建設技術」編集委員会
(新潟国道事務所)
建設青年委員会石川県との意見交換会
(ANAホリデイ・イン金沢スカイ)
- 13日(水) 石川県交通安全推進会議 (石川県庁)
石川県景観審議会 (石川県庁)
- 14日(木) 石川県建設業社会保険加入推進会議
(石川県地場産業振興センター)
働き方改革及び事業継承に関する説明会
(石川県地場産業振興センター)
- 15日(金) 会報編集委員会
小松商工会議所 建設部会 (小六庵)
- 18日(月) 広報・研修委員会 企画部会
佐藤のぶあき後援会 総会 (東京 鉄鋼会館)
- 19日(火) 北陸地方建設業推進協議会運営委員会
(北陸地方整備局)
- 20日(水) 土地改良委員会技術検討部会 県農林水産部との
意見交換会 (金沢ニューグランドホテル)
建築委員会 研修会(～24日)
- 21日(木) 専門技術研究会 (千曲川河川事務所)
- 22日(金) 専門技術研究会 (千曲川河川事務所)
情報共有システム体験会(アイサス)
(小松工業高校)
建設キャリアアップシステムに関する実務担当
者向け全国集合研修会(東京 建設業振興基金)

- 25日(月) 石川県産業教育振興会 第2回理事会・表彰式
(ANAホリデイ・イン金沢スカイ)
- 26日(火) 雇用対策特別委員会
東日本保証 取締役会 (東京 本社ビル)
税財務講習会
北陸地方整備局と北陸三県技士会との意見交換会
(新潟 東映ホテル)
- 27日(水) ICT活用工事報告会
金沢協会 青年委員会
(金沢ニューグランドホテル)
- 28日(木) 事務局打合せ

平成31年3月以降の行事予定

- 3月 4日(月) 正副会長会議
全国建産連 総務委員会
- 6日(水) 全国建産連 専門工業委員会
全建 経営委員会 (東京 東京建設会館)
土木委員会研修会(～10日)
- 7日(木) 全建 労働委員会 (東京 東京建設会館)
産業廃棄物講習 (7階 ホール)
- 8日(金) 技士会 DVDセミナー (小松能美建設業協会)
- 12日(火) 北陸青年会議所北陸地方整備局との意見交換会
(新潟 新潟建設会館)
- 14日(木) 三県協会事務局会議 (高山市内)
- 15日(金) 技士会 DVDセミナー (七尾鹿島建設業協会)
- 18日(月) 全建 協議委員会 (東京 経団連会館)
- 19日(火) 建設業振興基金 参与会 (東京 経団連会館)
建設業労働災害防止協会 理事会
(東京 経団連会館)
- 20日(水) 土地改良委員会 全体会議
(ANAホリデイ・イン金沢スカイ)
- 26日(火) 全建 専務・事務局長会議 (東京 鉄鋼会館)
- 4月 2日(火) 新入社員研修 開講式・講習
- 3日(水) 正副会長会議
常任理事会

「協会報」への随筆等投稿(お願い)

- 随筆文字数 400字詰め原稿用紙3枚(1,200字以上)
- 投稿の期日 毎月25日頃(翌月号の編集締切り)
- 協会報の発行 毎月1日発行
(毎月10日前後納入、会員送付)
- 謝礼 投稿頂いた記事について薄謝贈呈

(注) お問い合わせは、
 (一社)石川県建設業協会事務局広報担当
 TEL 076-242-1161 (代) 内線40番

地区協会からのお知らせ

(一社)金沢建設業協会

《行事予定》

- 2月 5日(火) 常任理事会
- 12日(火) 青年：救命講習
- 14日(木) 青年：情報発信セクション
建築：住宅委員会
- 15日(金) 女性活躍推進準備部会
- 19日(火) 現場責任者研修会
- 27日(水) 企業経営者・後継者等研修会
青年：全体会

(一社)加賀建設業協会

《行事予定》

- 2月 5日(火) 土木委員会 研修会

(一社)小松能美建設業協会

《行事予定》

- 2月 7日(木) キャリア教育(松陽中学校)

《お知らせ》

- 3月 5日(火) 監理技術者講習

(一社)白山野々市建設業協会

《行事予定》

- 2月 1日(金) 翠星高等学校との意見交換会
- 26日(火) 理事会

河北郡市土建協同組合

《行事予定》

- 2月 5日(火) 第4回監理技術者講習会

(一社)羽咋郡市建設業協会

《行事予定》

- 2月18日(月) 健康診断
- 26日(火) 役員会

《お知らせ》

- 3月 5日(火) 監理技術者講習会
役員会
- 中旬 役員会
- 下旬 河川堤防・護岸の点検パトロール(予定)

(一社)七尾鹿島建設業協会

《行事予定》

- 2月 6日(水) 監理技術者講習会
万葉マラソンクリーン作戦打合せ
- 下旬 万葉マラソンクリーン作戦

《お知らせ》

- 3月 3日(日) 万葉マラソンクリーン作戦
- 4月10日(水) 監理技術者講習会

(一社)鳳輪建設業協会

《行事予定》

- 2月 6日(水) 正副会長会議、理事会

(一社)珠洲建設業協会

《行事予定》

- 2月18日(月) 理事会

消費税の軽減税率制度への対応には準備が必要です!



2019年10月1日から、消費税及び地方消費税の税率が8%から10%に引き上げられるのと同時に、軽減税率制度が実施されます。軽減税率制度への対応には、事前準備に相応の時間が必要な場合があります。早めの準備をご検討ください。

標準税率10%と、飲食料品に係る軽減税率8%について

- 帳簿・請求書等を税率ごとに区分して記載することが必要となります。
- レジや受発注システム・会計システム等の導入・改修・入替えが必要になることがあります。

軽減税率制度に関する情報

国税庁 ホームページ内 **消費税の軽減税率制度** をクリック

軽減税率制度の説明会を全国で開催しています。ぜひご参加ください。

開催日時、場所については **軽減税率説明会** を検索

軽減税率制度に関するお問合せ先

消費税軽減税率電話相談センター **【専用ダイヤル】0570-030-456**
(軽減コールセンター) (受付時間) 9:00~17:00(土日祝除く)

軽減税率対策補助金に関するお問合せ先

軽減税率対策補助金事務局 **【専用ダイヤル】0570-081-222**
URL <http://kzt-hojo.jp/> (受付時間) 9:00~17:00(土日祝除く)